

2007年11月1日



第10期(2008年3月期) 中間決算のご説明

フューチャーベンチャーキャピタル株式会社
(大証ヘラクレス, 証券コード8462)

この資料での数値は、特に指定がない限りすべて2007年9月30日現在です。

1. 第10期中間(2008年3月期)活動報告

2. 活動方針

本資料における記載数値について

当社では連結での決算を行っておりますが、当社の経営成績及び財務状態をよりの確に表すため、本資料では基本的に従来どおり個別での財務数値を記載しております。

【連結の対象となる投資事業組合】

連結子会社数 : 31組合(当社が管理運営している投資事業組合すべて)
出資金総額 : 34,248百万円
(うち、外部出資者の持分 27,504百万円)

【組合連結による主な相違点】

投資事業組合を連結することにより外部出資者の持分が連結損益計算書、連結貸借対照表に含まれます。

○損益計算書

・外部出資者の持分が売上や売上原価に含まれるため、**損益にも外部出資者の持分が含まれることになります。**

外部出資者の持分である損益は、「少数株主損益」として控除されます。

・**投資事業組合等管理報酬が内部取引とみなされ、売上に計上されなくなります。**

結果的には、他の損益とあわせて、「少数株主損益」で調整されます。

○貸借対照表

・**自己資本比率が低下します。**外部出資者の持分が「少数株主持分」として「純資産」に含まれますが、「自己資本」は個別と同額のままであるためです。

1. 第10期中間(2008年3月期)活動報告

【貸借対照表】個別決算と連結決算の差異



(単位: 百万円)

	個別	連結	差異の理由
流動資産	3,999	21,697	
現金及び預金	1,254	6,791	個別ではファンドの当社持分のみ取り込んでいたが、連結ではファンド全体の資産を取り込む。
営業投資有価証券	2,954	16,645	
投資損失引当金	△283	△1,780	
固定資産	227	227	ファンドには固定資産がないため、変動せず。
流動負債	1,775	2,408	ファンドの未払金などの負債を、個別ではファンドの当社持分のみ取り込んでいたが、連結ではファンド全体で取り込む。
固定負債	377	377	
純資産	2,075	19,140	
少数株主持分	-	17,000	ファンドの自社持分以外の出資者持分を少数株主持分として計上する。
資産合計	4,227	21,925	
自己資本比率	49.1%	9.8%	少数株主持分は自己資本比率の計算に入らないため、連結では自己資本比率が大幅に下がる。

1. 第10期中間(2008年3月期)活動報告

【損益計算書】個別決算と連結決算の差異



(単位: 百万円)

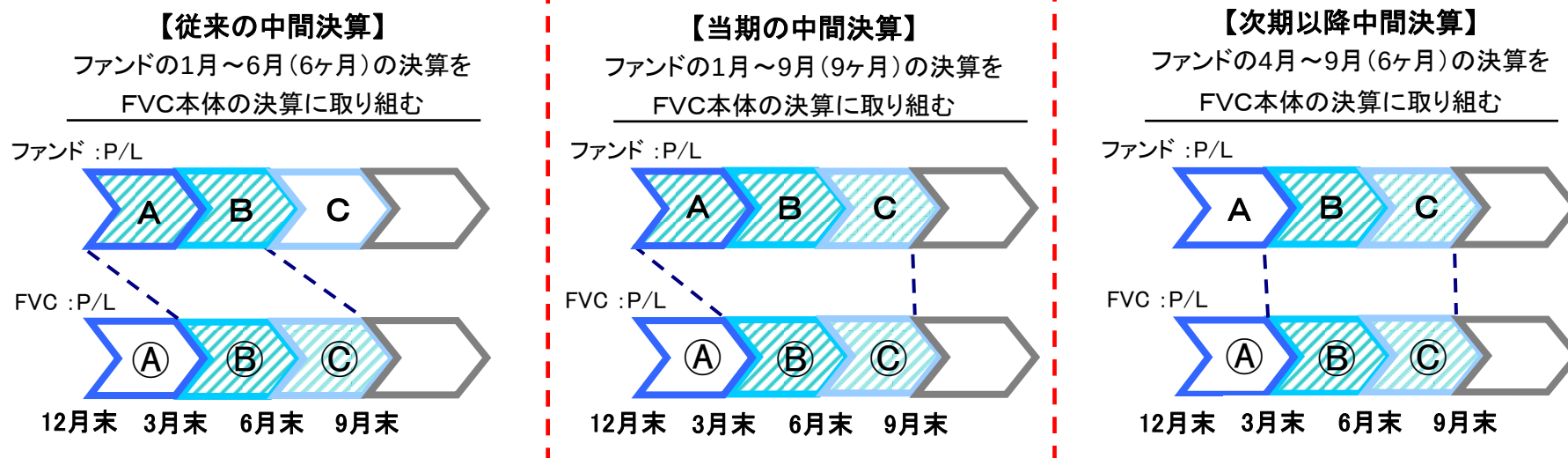
	個別	連結	差異の理由
売上高	395	107	
投資事業組合等管理収入	346	-	ファンドからの管理報酬・成功報酬は、連結では内部取引となるため相殺される。
営業投資有価証券売上高	8	66	個別ではファンドの当社持分のみ取り込んでいたが、連結ではファンド全体の売上高を取り込む。
売上原価	571	1,600	
営業投資有価証券売上原価	14	109	個別ではファンドの当社持分のみ取り込んでいたが、連結ではファンド全体の原価・引当金繰入を取り込む。
投資損失引当金繰入額 (△戻入額)	127	1,074	
その他の売上原価	430	415	ファンドの管理報酬費用等について、連結では内部取引となるため相殺される。
売上総利益(△損失)	△176	△1,492	
販売費及び一般管理費	163	179	ファンドの監査費用などの費用が、連結ではファンド全体の金額を取り込むこととなる。
営業利益(△損失)	△339	△1,671	
経常利益(△損失)	△365	△1,698	
税引前中間純利益(△損失)	△365	△1,697	
少数株主利益(△損失)	-	△1,442	上記より当社持分以外の出資者持分にかかる損失を控除する。
中間純利益(△損失)	△371	△260	純損失の額は、基本的に個別と連結で一致する。 (今期のずれは、当社決算時期とファンド決算時期のずれによるもの)

1. 第10期中間(2008年3月期)活動報告

投資事業組合への出資金に係る会計処理について (個別)



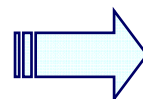
当中間決算におきましては、ファンドの1月～9月の収益及び費用を
当社の出資持分割合に応じて、FVC本体の決算に計上しております。



【会計方針の変更による主な影響(個別)】

《中間損益計算書》

売上高	4,570千円	増加
売上原価	166,427千円	増加
販売費及び一般管理費	224千円	増加



営業利益	162,082千円	減少
経常利益	163,672千円	減少
中間純利益	163,672千円	減少

売上原価等の大幅な増加により利益が減少。当中間決算では上記の利益減少を含んで掲載しています。

1. 第10期中間(2008年3月期)活動報告

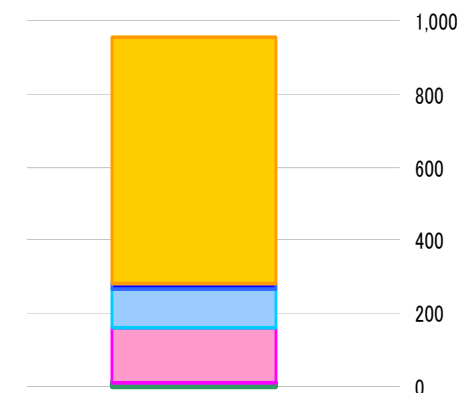
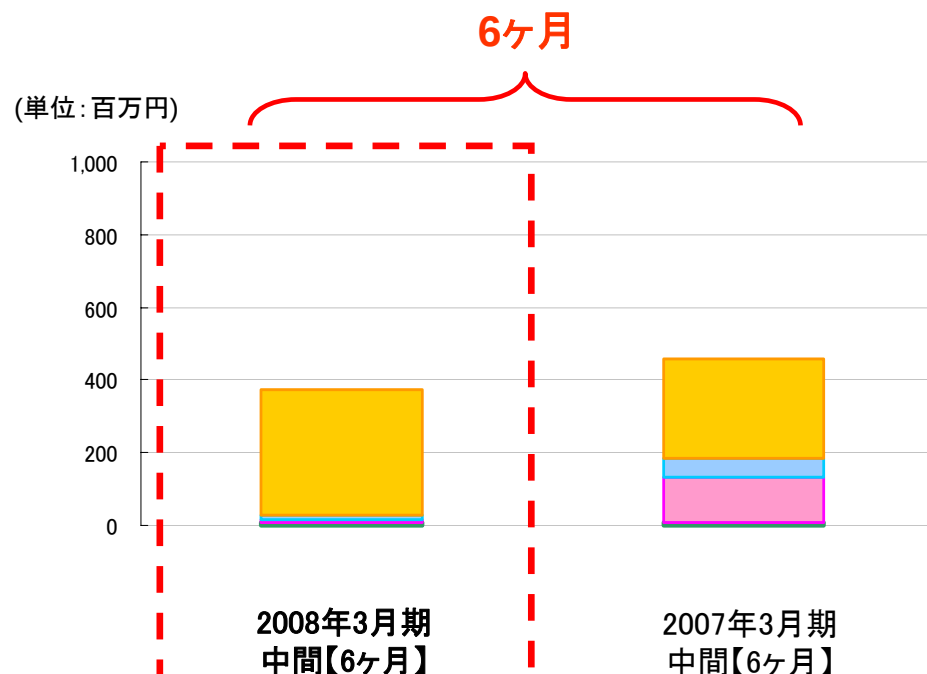
第10期中間(2008年3月期)決算 (個別)



	第10期中間 2008年3月期 2007/4～2007/9【6ヶ月】	第9期中間 2007年3月期 2006/4～2006/9【6ヶ月】	第9期通期 2007年3月期 2006/4～2007/3【12ヶ月】
売上高	395百万円	456百万円	892百万円
営業利益	△339百万円	41百万円	△49百万円
経常利益	△365百万円	38百万円	△66百万円
中間(当期) 純利益	△371百万円	35百万円	△74百万円
純資産	2,075百万円	2,562百万円	2,448百万円
総資産	4,227百万円	4,032百万円	3,923百万円
自己資本比率	49.1%	63.6%	62.4%

1. 第10期中間(2008年3月期)活動報告

売上高の内訳・前年比較 (個別)



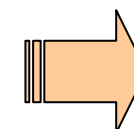
(単位: 百万円)		2008年3月期 中間【6ヶ月】		2007年3月期 中間【6ヶ月】		2007年3月期 通期【12ヶ月】	
投資事業組合等管理業務		346	87.6%	272	59.6%	627	70.3%
(うち、成功報酬)		—		—		18	
コンサルティング業務		34	8.6%	51	11.2%	101	11.4%
営業投資有価証券売上高		8	2.2%	124	27.2%	151	16.9%
その他		6	1.7%	8	1.9%	12	1.3%
計		395	100.0%	456	100.0%	892	100.0%

第10期に新設・増額したファンド

【新設ファンド】

2007年6月

あおもりクリエイティブファンド投資事業有限責任組合



青森県内を中心に東北地域に拠点を持つ、中小ベンチャー企業への投資・育成を目的として設立。
財団法人21あおもり産業総合支援センターを中心に県、商工会議所、大学等が一丸となり、オール青森による産学官金のハズオン支援体制を構築します。株式上場などを志向する企業に対する成長資金を供給し青森県において新産業の創造や地域経済の活性化等の経済効果を目指します。

【既存ファンドの増加】

FVCグロース二号投資事業有限責任組合

増加金額

1.0億円

増加後
ファンド総額



さかいベンチャー育成投資事業有限責任組合

2.2億円



以上から、第10期中間に増加したファンド額は、

25.35億円

1. 第10期中間(2008年3月期)活動報告

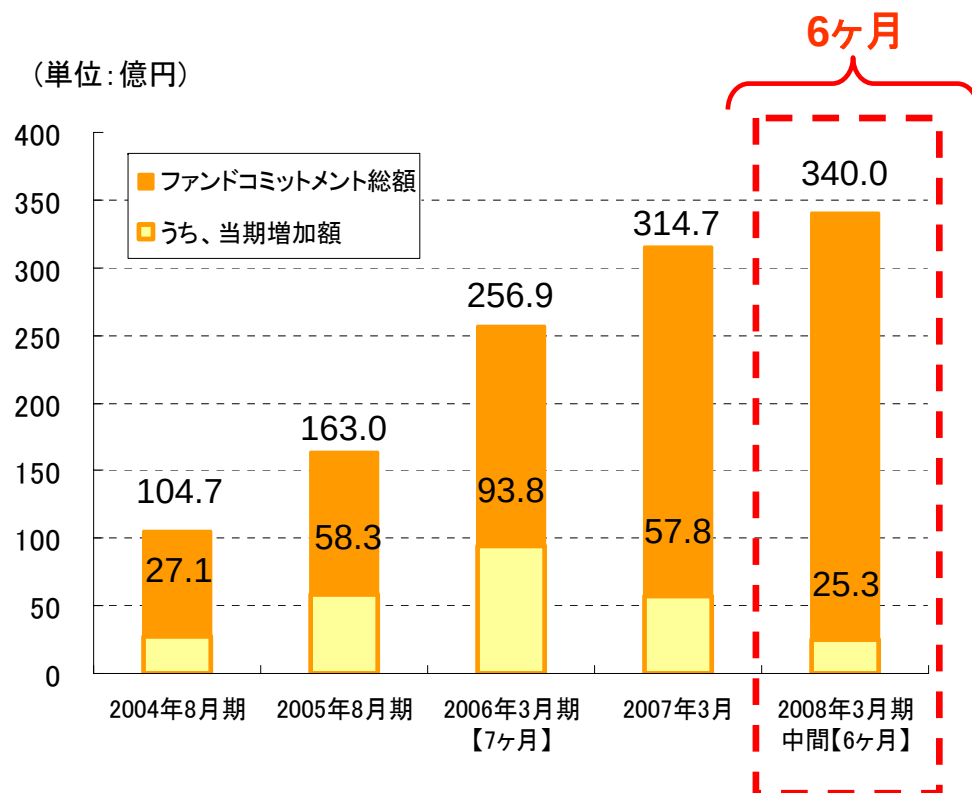


ファンドコミットメント総額の推移

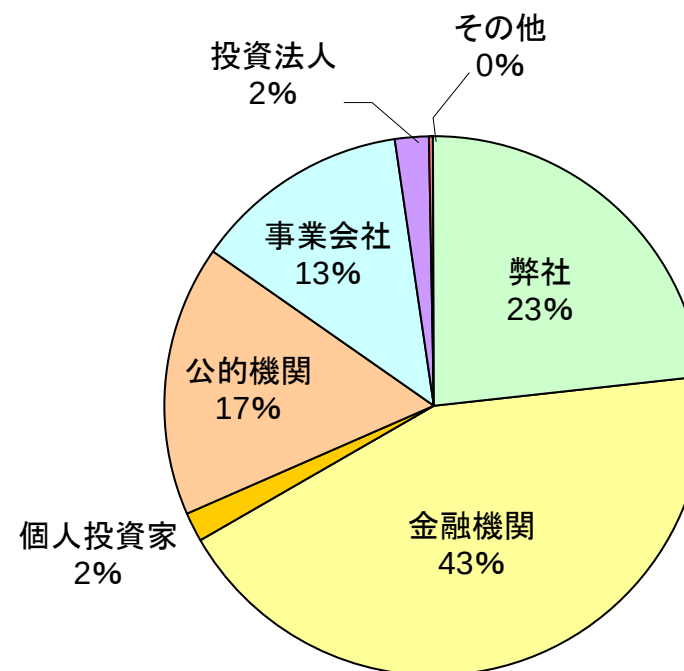
2007年9月30日現在のファンドコミットメント総額
(子ファンドは含めておりません)

340.0 億円

《ファンドコミットメント総額の推移》



《ファンド出資者構成》



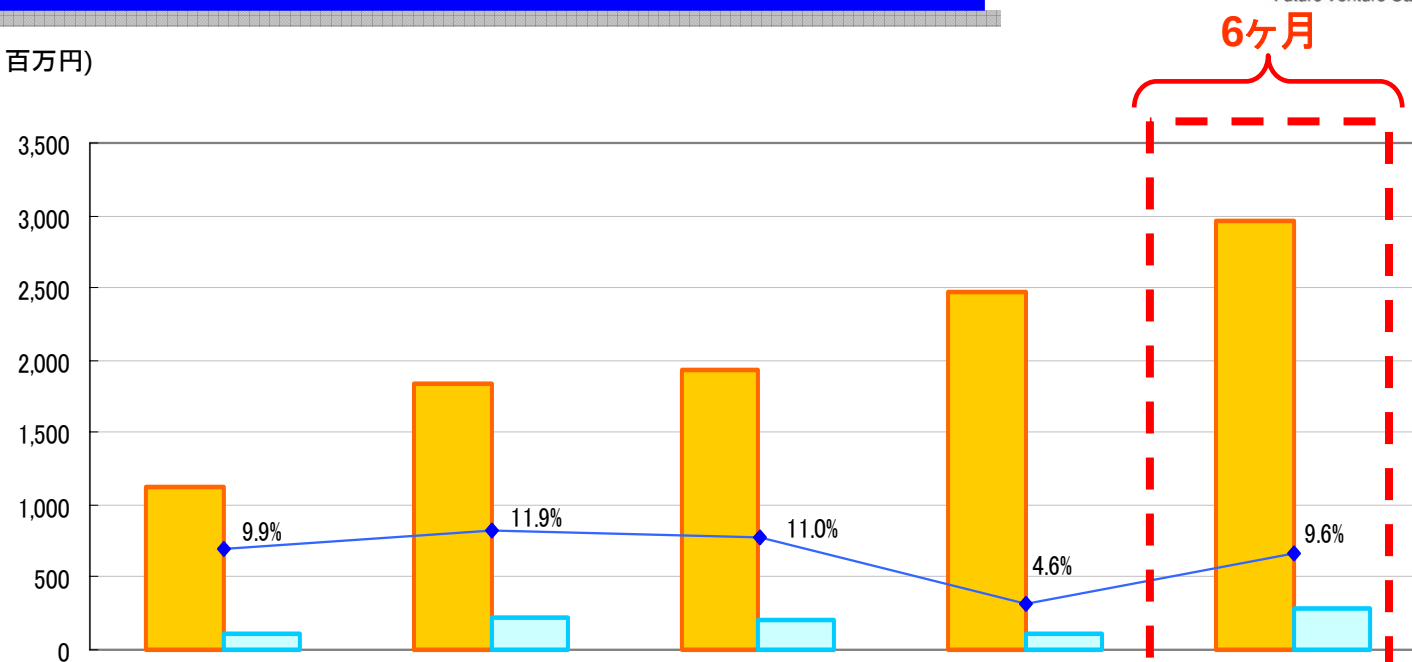
出資金額ベース
2007年9月30日現在

1. 第10期中間(2008年3月期)活動報告

営業投資有価証券の伸びと投資損失引当金（個別）



(単位: 百万円)



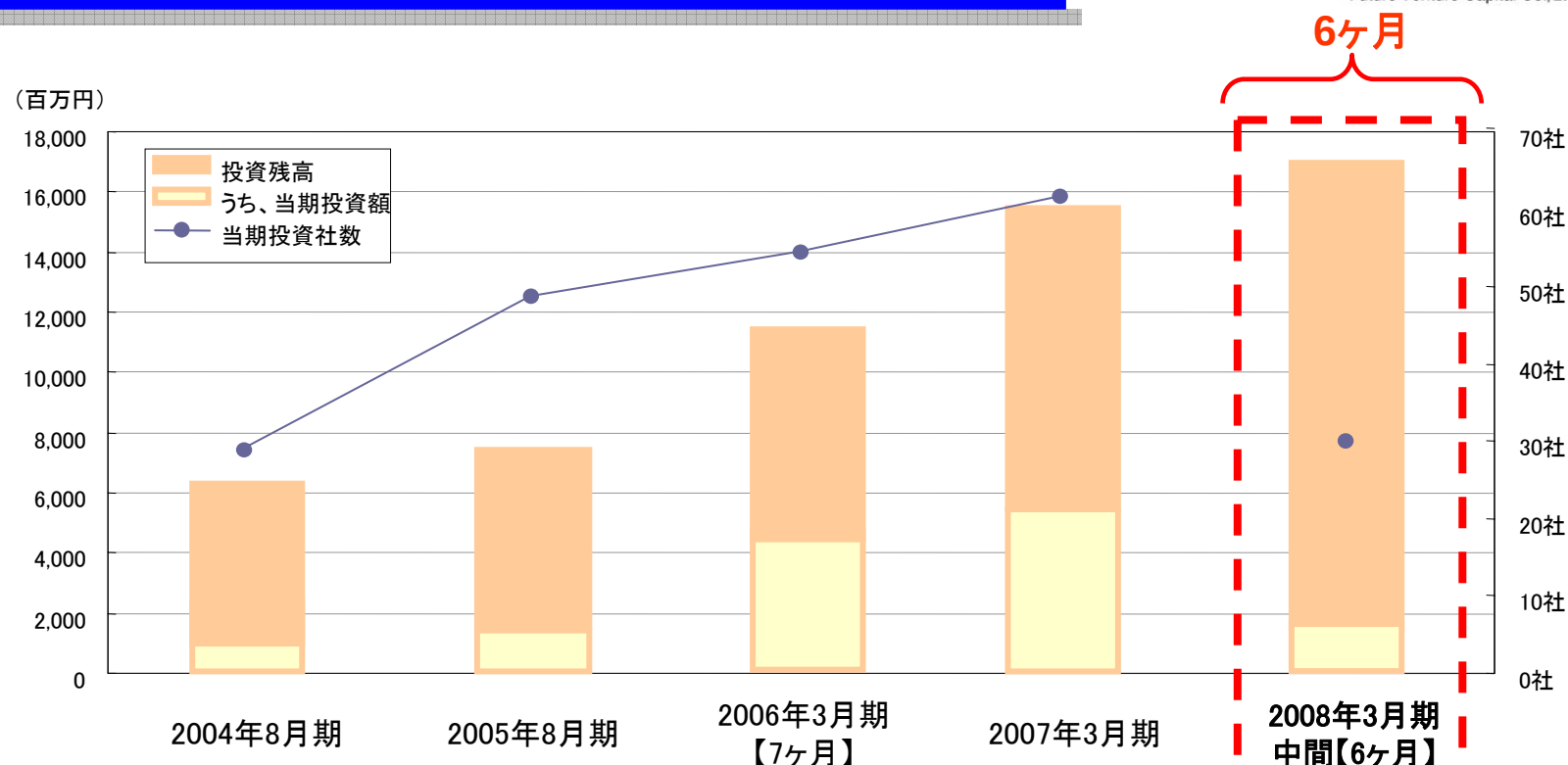
(単位: 百万円)

	2004年8月期	2005年8月期	2006年3月期 【7ヶ月】	2007年3月期	2008年3月期 中間【6ヶ月】
営業投資有価証券	1,126	1,831	1,927	2,463	2,954
引当金繰入額 (△戻入額)	6	119	△4	△100	127
引当金残高	112	217	212	112	283
営業投資有価証券に 対する引当率	9.9%	11.9%	11.0%	4.6%	9.6%

※2005年8月期より、営業投資有価証券には営業出資金が含まれております。

1. 第10期中間(2008年3月期)活動報告

投資金額・社数の推移



投資残高	6,225	7,346	11,471	15,045	16,645
うち、当期投資額	904	1,593	4,270	5,355	1,723
当期投資社数 [右軸]	28社	49社	55社	62社	30社
一社当たり投資金額※	32.3	32.5	77.6	86.3	57.4

※ 一社当たり投資金額 = 当期投資額 ÷ 当期投資社数

1. 第10期中間(2008年3月期)活動報告

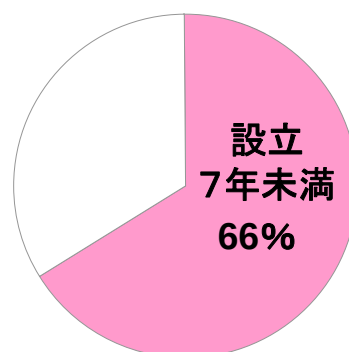
当期投資ポートフォリオ (2007年4月～9月、金額ベース)



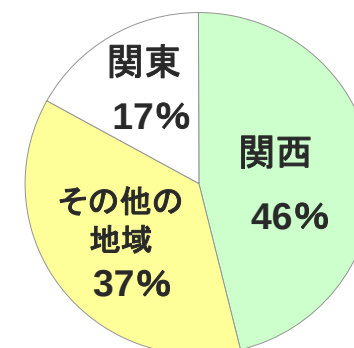
当期投資金額 1,723 百万円

投資社数 30社

設立年別分類

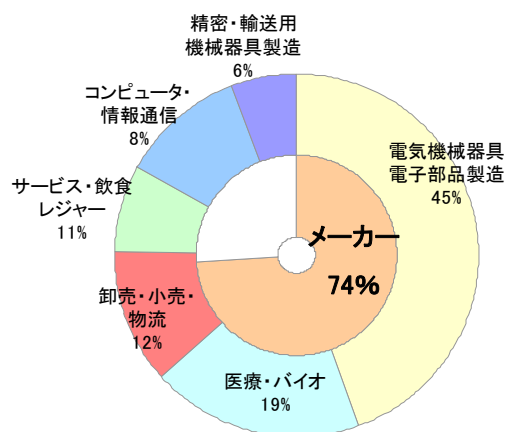


地域別分類



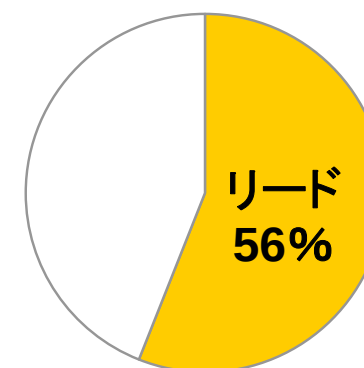
関西・・・大阪、京都、兵庫、滋賀、
その他の地域・・・三重、岩手、愛媛、静岡、その他
関東・・・東京

業種別分類



※VEC調査によると、平成18年度における
日本のVC全体のメーカーへの投資比率は約39%

リードインベスターとして 投資している案件



1. 第10期中間(2008年3月期)活動報告

投資残高ポートフォリオ

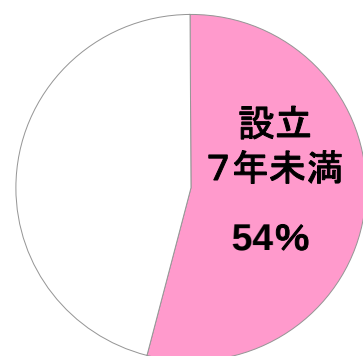
(2007年9月末、金額ベース)



投資残高金額 16,645 百万円

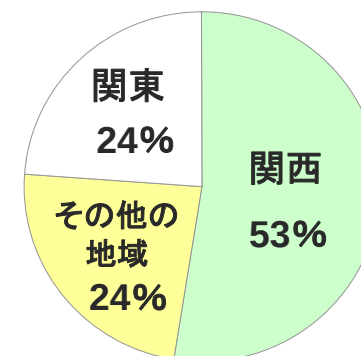
投資残高社数 220社

設立年別分類



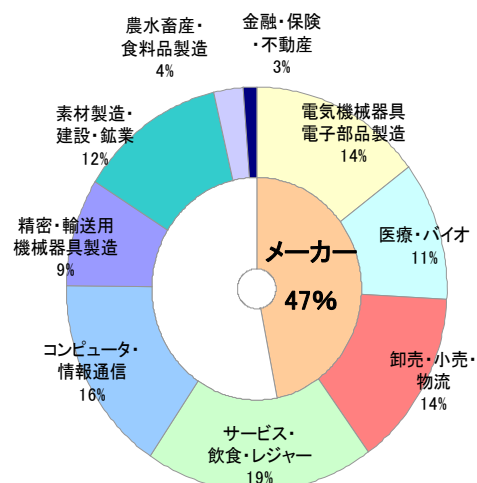
※初回投資時点の設立後経過年数

地域別分類

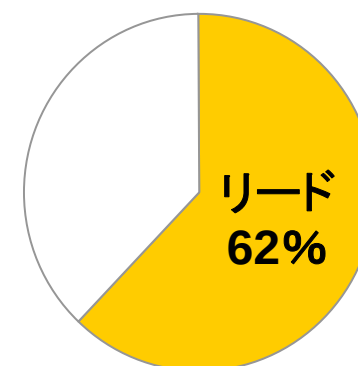


関西・・・大阪、京都、兵庫、滋賀、奈良
その他の地域・・・石川、三重、岩手、愛媛、その他
関東・・・東京、茨城、神奈川、群馬、千葉

業種別分類



リードインベスターとして投資している案件



※33社に非常勤役員として派遣しています

1. 第10期中間(2008年3月期)活動報告

2. 活動方針

FVCの理念と特徴

経営者の夢の実現を応援

成り立ち

個人創業独立系VC
自ら株式上場を経験
京都本社

運営

ハンズオン型
地域プラットフォーム構築
積極的なディスクローズ

活動領域

地域展開
ものづくり重視
アーリーステージ重視

投資育成哲学

信頼関係構築
現場主義
リスクリターンバランス

等身大の目線・連携体制構築

豊かな投資機会・積極的な支援

信頼関係の構築と企業価値向上

高いリターン

2. 活動方針

FVCの地域展開



■ 積極的な地域展開

地域振興の行政ニーズがある地域へ進出
⇒ FVCが事務所を設置

2007年6月
青森事務所設置

■ 地域プラットフォームの活用・・・国内VCとの差別化

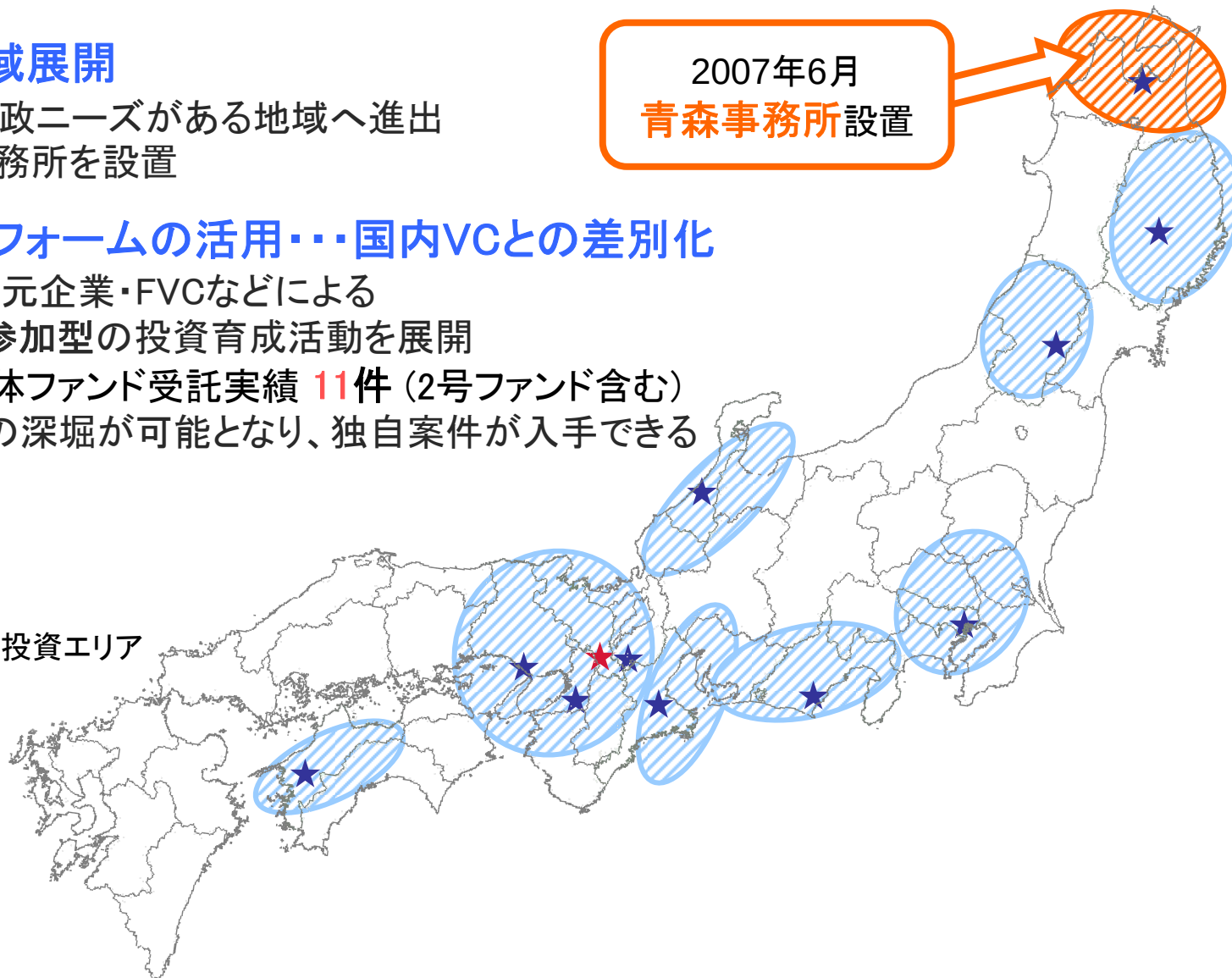
⇒ 自治体・地元企業・FVCなどによる
地域全員参加型の投資育成活動を展開
地方自治体ファンド受託実績 **11件** (2号ファンド含む)
⇒ 案件発掘の深堀が可能となり、独自案件が入手できる



投資拠点

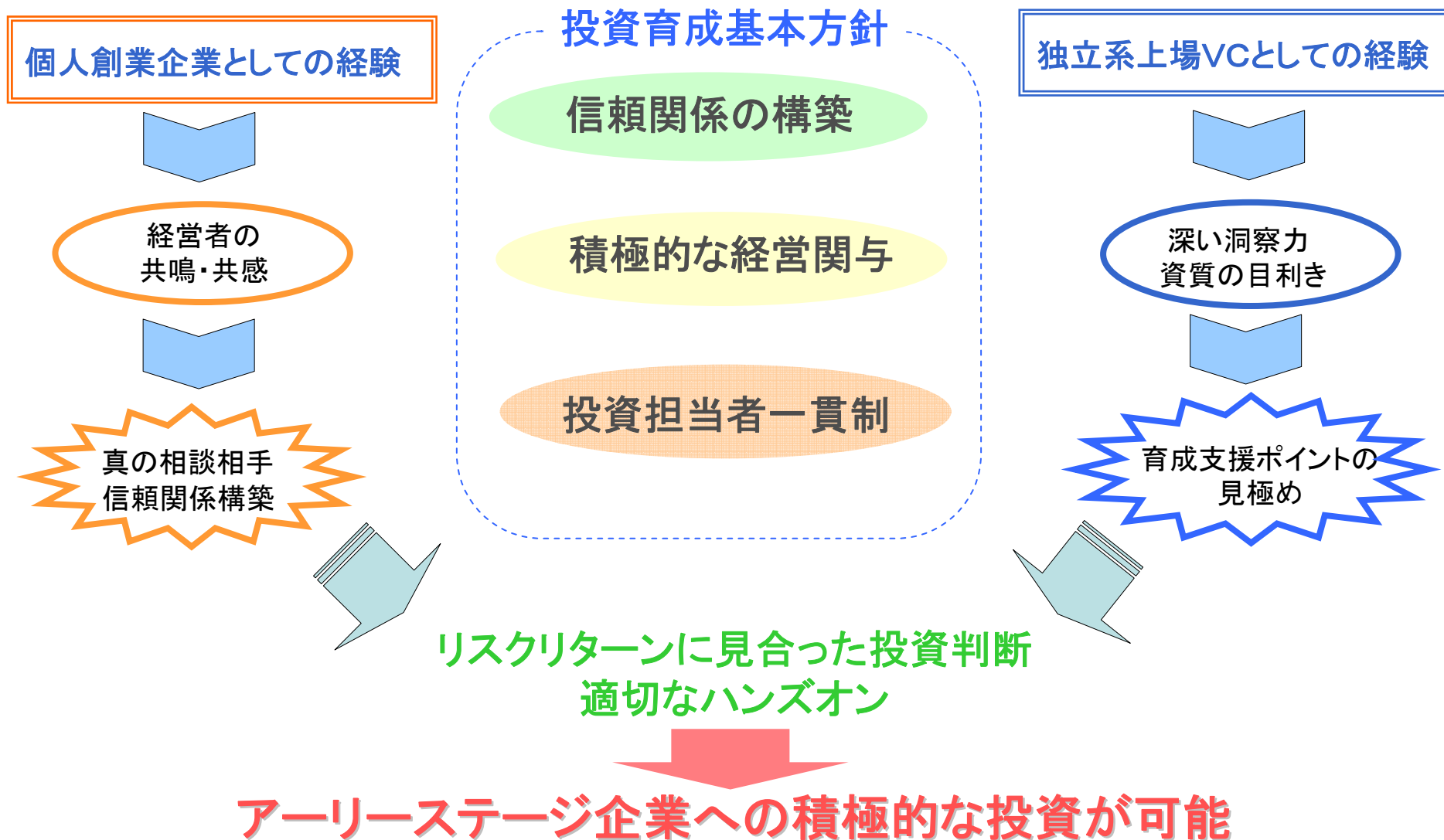


投資拠点がカバーする投資エリア



2. 活動方針

FVCの目利き・ハンズオンの特徴①



2. 活動方針

FVCの目利き・ハンズオンの特徴②



ハンズオン委員会との連携

育成・支援状況をチェックし、今後の方針を検討する機関として、ハンズオン委員会を設けています。

投資担当者一貫制による信頼関係の構築

信頼関係が存在することで、企業が内包するリスクを把握することが可能になります。そのため初回面談から上場に至るまで担当者とシニアが一貫して取り組みます。

若手担当者とシニア担当者の融合

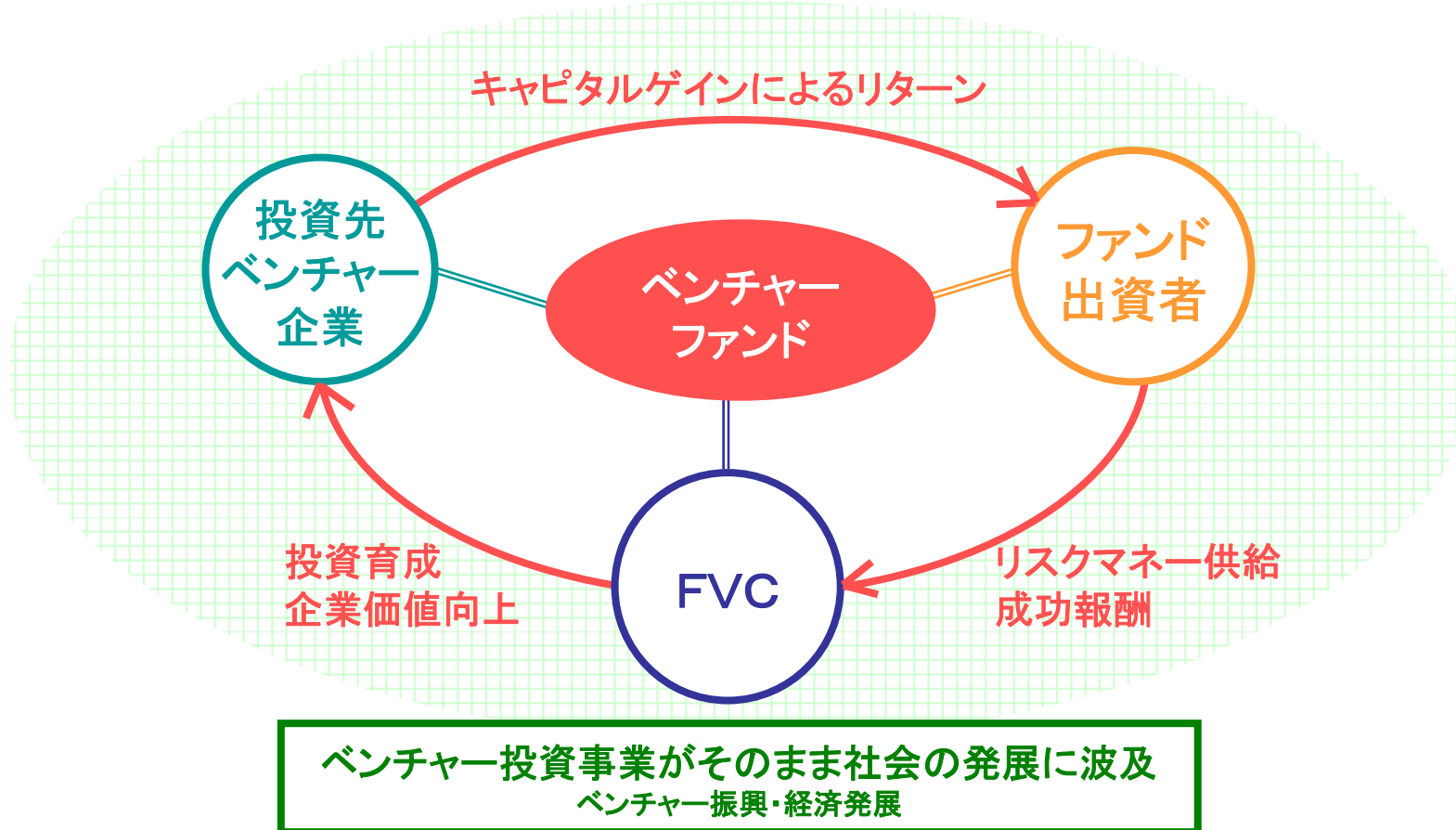
経験にとらわれにくい若手の投資担当者は、リスクが高いユニークな企業を発掘する可能性があり、経験豊富なシニア担当者と共同することで高いリターンを生む活動が可能となります。

FVCハンズオン・パートナーズとの連携

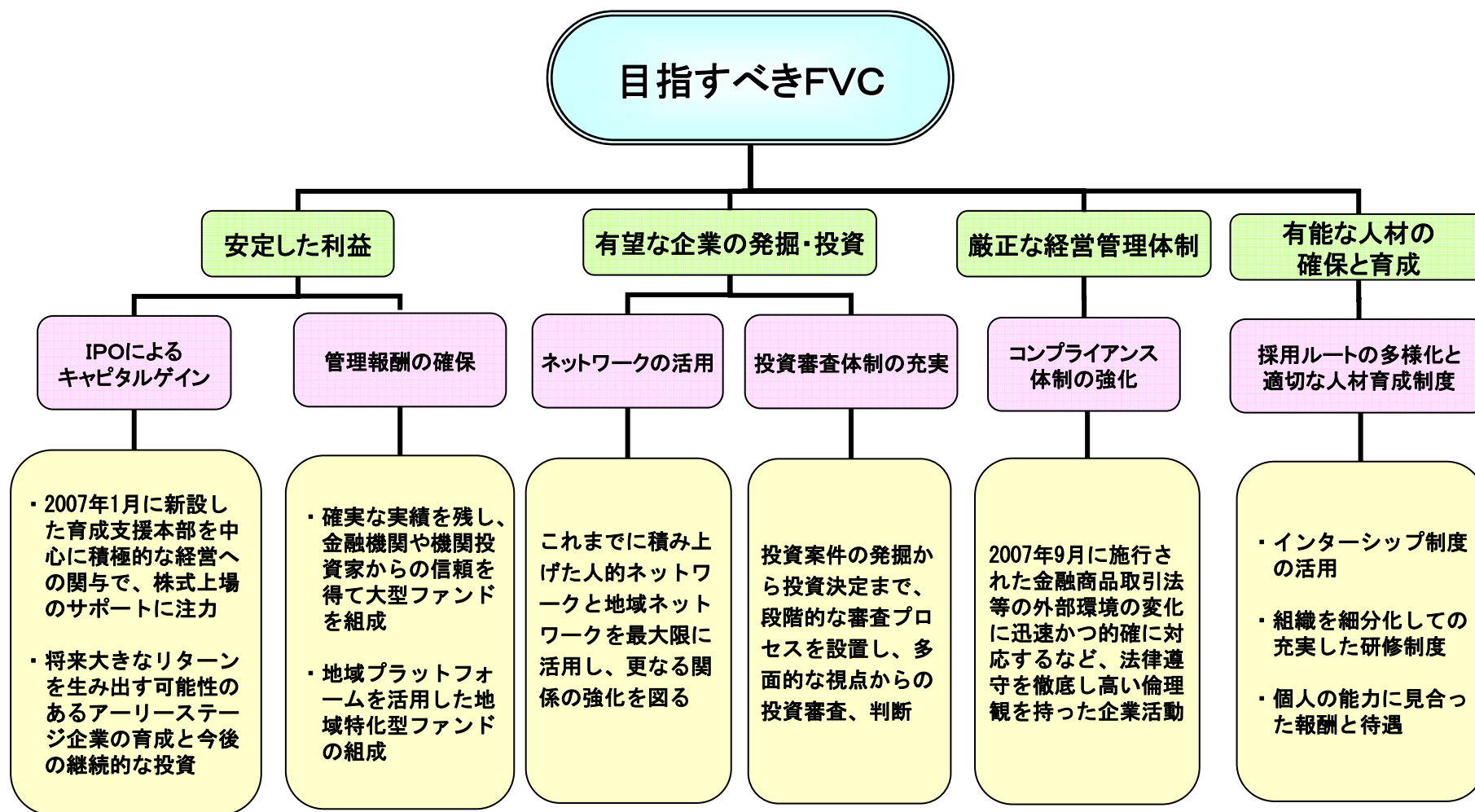
FVCハンズオン・パートナーズ(外部の専門家集団)と連携し、最適な専門家と共に課題解決に当たります。

投資先企業

「三方よし」を実現するサイクルでの事業推進 ～弊社・投資先企業・ファンド出資者・社会経済すべての価値を向上させる～



※「三方よし」とは、近江商人に古くから伝わる処世訓であり、
「売り手」「買い手」「世間」すべてが「良し」となるような商売が結果的に成長するという意味を持っています。



- 会社名 : フューチャーベンチャーキャピタル株式会社(FVC)
- 設立年月日 : 1998年9月11日
- 資本金 : 1,887百万円
- 発行済株式総数 : 32,357.67株
- 株式公開市場 : 大阪証券取引所ヘラクレス(8462)
- 所在地 : 京都府京都市中京区烏丸通錦小路上ル手洗水町659番地
烏丸中央ビル8階
- 従業員数 : 71名
- 事業内容 : 未公開企業投資業務、投資事業組合の企画・運営
コンサルティング業務など